

株式会社 京都銀行

京都市下京区烏丸通松原上る
郵便番号600-8652

オンラインデータ連携基盤を活用した業務アプリの相互流通スキームを構築！
～「地銀共同センター・MEJAR システム・ワーキンググループ (CMS-WG) ※1」
の取り組み【第一弾】～



京都銀行（頭取 土井 伸宏）は、NTTデータ地銀共同センター※2 参加行12行とともに、MEJAR※3 参加行5行と昨年11月に立ち上げたシステム・ワーキンググループ（以下、『CMS-WG』）での第一弾の取り組みとして、業務アプリの相互流通スキームを構築しましたので、お知らせいたします。

今回構築した相互流通スキームは、オンラインデータ連携基盤／SEHub※4 を活用して構築しております。本件スキームを活用することで、先発行が開発した業務アプリを相互に活用し、短期間、低コストでの実装を可能とするとともに、各行のノウハウを共有化することで、デジタル分野でのサービス拡充を一段と加速させ、しかも効率的に実現することができます。また、本件スキームは広く公開する方針としており、CMS-WG参加行以外の金融機関も幅広く参画いただく予定です。

なお、5つの検討テーマを掲げてスタートしたCMS-WGでは、経営資源のより一層の有効活用を念頭に置いたシステム運用の効率化を引き続き進めてまいります。

当行では、今後も連携の枠組みを活用し、お客さまに付加価値の高いサービスを提供するとともに、さらなる利便性向上とコンサルティング体制強化を実現してまいります。

記

スキーム概要

名 称	オンラインデータ連携基盤／SEHubを活用したアプリ相互流通スキーム (相互流通スキーム)
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・両センターの先発行で開発済みの業務アプリ（約20業務）について、業務アプリ導入希望行による利用が可能です。導入希望行は、先発行の事務を踏襲することで、短期間かつ低コストで利用が可能となります。 ・新たな業務アプリの両センターでの共同検討を実施します。 ・両センターに加え、他行・他共同センター（CMS-WG以外の銀行）への業務アプリ提供を実施します。

